

【日住研修用（1日目） 個別支援計画作成事例】

ケース概要

- ・ Aさん
- ・ 60代前半、男性
- ・ 人員配置：5：1（宿直あり・3食提供）の場合を想定して事例を作成しています。
- ・ 入所後、2週間経過

<生活歴>

三人きょうだいの長男として出生。地元の小学校、中学校（特別支援学級）を卒業。もともと読み書きが上手くできず、勉強は苦手で学校の成績は良くない状況だった。中学校卒業後は進学せず、実家で家業の農業に従事していたがあまり長くは続かず、その後は実家を出て暮らしているが、仕事は長く続かず、様々な仕事を行うが各地を転々としながら過ごしていた。家族とは連絡もお互いに取り合っていない状況で疎遠となっており、本人は現在、家族の連絡先もどこに住んでいるかもわからない状態となっている。

結婚歴があり、子どもを設けたこともあったが現在は離婚し元妻や子どもが最後にどこに住んでいるかは覚えているが、現在どのような状況にあるかまでは本人はわかっていない。

<相談経緯>

離婚後は各地で単身生活をしてきたようだが、生活に困り食品の万引きを何度も行い刑務所への収監を繰り返していた。約1年前に刑務所出所した後に更生保護施設利用し、約半年前に生活保護を受給しながらアパートでの単身生活に移行したが、徐々に心身機能が低下し両膝の痛みによって長距離の歩行が困難なことや、尿失禁がみられるが保清ができないこと、もともと調理や家事ができなかったことや物忘れの症状などの認知機能の低下によって単身生活の維持が難しい状況となっており、市役所の担当ケースワーカーから相談あり当施設の入所につながった。

<今後の意向>

単身での生活は現状、難しいと感じている。まずは体の調子を整え安心したい。これ以上のことは現状では考えられない。

<現症・既往歴等>

- ・ 両膝の痛み…痛みのため長距離の歩行は難しい。施設入所後受診し、両変形性膝関節症との診断あり。
- ・ 尿失禁…毎日みられており、衣類等の汚染もみられる。施設入所後受診したところ、前立腺肥大症との診断あり。
- ・ 物忘れ…直近の出来事や、慣れない人・物の名前、場所を記憶することが難しくなっている。専門医は未受診である。

シート 1-1

アセスメントシート

金銭管理	<ul style="list-style-type: none">・数万円程度のある程度まとまったお金を持っていて天気がいいと、ふらっと遊びに行きたくなってしまう。パチンコ屋さんなどギャンブルをすることが多い。自身ではそういった行動を止めることができないため、高額のお金は預かってほしいと思っている。・普段は散財するほうではなくお金が不足することは少ない。
健康管理 ・ 衛生管理	<ul style="list-style-type: none">・当施設への入所前には病院にかかったことが無かったが、当施設へ入所後に通院したところ、両膝の痛みについては両変形性膝関節症、尿失禁については前立腺肥大症の診断がおりる。・入浴や衣類交換は毎日行うが、尿失禁のため衣類が汚れたままになっていることがある。・内服薬の処方があるが（整形外科、泌尿器科）、飲み忘れがあるため、声をかけて促しや内服確認が必要。
炊事 洗濯 等	<ul style="list-style-type: none">・調理は昔から行っていなかったのと、苦手なため行うことができない。炊飯器を使ってやっと炊飯ができる程度。・洗濯は定期的に行っているが、尿失禁で布団類を汚染したときに一人で洗濯することが難しく、誰かの手助けを要する状態。・居室内は片付けられている様子で散らかしている様子はみられない。
安全管理	<ul style="list-style-type: none">・火の取り扱いなど、特に危険になる行為はみられていない。
理解 ・ コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none">・会話の中で言葉が出にくいことがあり、自分の思っていることを話すまでに時間がかかることがある。また、言葉の理解が難しいことがあり、難しい話はわかりやすく説明する必要がある。・きさくな性格で、初めて会った人とでもコミュニケーションをとることに問題はない。・直近の出来事や、慣れない人・物・の名前、場所を記憶することが難しくなっている。

シート2

課題・希望整理シート

	1 (課題) 本人	2 (希望)	3 (目標)	4-1 (支援内容)	4-2 (担当)

個別支援計画に記載すべき「入所者の生活に対する意向」と「総合的な支援の方針」のまとめ方と記載方法は次のとおりである。

個別支援計画に記載すべき「入所者の生活に対する意向」をアセスメントするときには、例えば「なぜ、日常生活支援住居施設に入るようになったのか」、生活に躓いた理由などを聴く。一例として、ギャンブルなどにお金を使いこんで家賃滞納した、といった答えがきかれるかもしれない。頼れる身寄りがいないために連帯保証人が確保できないとか、ギャンブルしない状態を一日でも続けるのが自分一人の力では困難であるという答えもあるかもしれない。

また例えば、「日常生活支援住居施設でこれからどうやって生活を良くしていきたいのか」、さらにその先に目指す生活像があればそれも聴いて記載する。一例として、「誰かの力を借りながらギャンブルをしなくても済む環境や、やめ続ける方法を身につけていきたい」「そのために、日常生活支援住居施設のスタッフ等の力を借りて生活を立て直し、ゆくゆくはまた一人暮らしをしていきたい」といった答えがきかれるかもしれない。

実際に文章にして記載するときの主語は、入所者で記載する。「入所者〇〇〇〇は、」□□□をしたいという書き方である。

次に、個別支援計画に記載すべき「総合的な支援の方針」をまとめる際は、上記アセスメントで聴取した、「なぜ日常生活支援住居施設に入るようになったのか」という根本的な内容に対して、日常生活支援住居施設としての支援の主要方針を打ち出すかたちで記載する。したがって、アセスメントの段階で入所者の生活に対する意向を十分に聴き取れており、なおかつ個別支援計画の支援内容がアセスメントシートで網羅されていなければ、個別支援計画を書くことが難しくなる。総合的な支援の方針の書き方は、例えば「〇〇様がギャンブルをやめ続けられる支援やお金の使い方等のアドバイスなどし生活を立て直し、その後一人暮らしを目指すことができるよう支援いたします」などが考えられる。

実際に記載するときの主語は、事業者で記載する。「事業者は、」□□のように支援いたします、という書き方である。

次のシート2は、課題・希望整理シートで、「課題」の欄には先述した支援者が感じる課題を記載する。「希望」の欄には本人の希望（希望する生活）を記載する。その後、支援が必要な項目ごとに目標、支援内容、担当を記載していく。シート2（課題・希望整理シート）は、シート3の個別支援計画の書面に転記していく内容となっている。例えば、個別支援計画の「生活の質を向上させるための課題（ニーズ）」の部分で課題・希望整理シートと対応した部分は記号番号でいうとA1やA2（本人の課題と希望）の部分である。その他の部分についても課題・ニーズ整理シートから個別支援計画の書面に転記していく。

シート3

日常生活支援住居施設 個別支援計画

利用者氏名	様	生年月日	年 月 日	計画 No.	第 回目
事業所名		個別支援計画 作成担当者名	生活支援提供責任者 氏名：	計画作成日	年 月 日

1 入所者の生活 に対する意向	9 総合的な支援 の方針
--------------------	-----------------

生活全般の質を向上させる ための課題（ニーズ） 2	日常生活及び社会生活 上の支援の目標（課題 に対する目標） 3	達成時期 （期間） 4	支援内容・方法等			備考 （留意事項） 8
			内容 5	方法 6	提供機関 担当者 7	

【同意書】

私は、上記の個別支援計画について説明を受け、
これに基づいて支援が行われることに同意しました。

年 月 日

本人 ㊞
 代理人等 ㊞

シート3（個別支援計画）の中で□で囲んだ数字をつけた欄の、記載要領を以下に示す。

- 1 今後の望む生活や将来の夢・希望、それを実現するために施設に入所しながら実現させたいこと、解決したい課題などを記載することが多い。そのため長期的な視点で記載されることが多い。短期的・中期的なもの例「病気を治療し仕事ができるように心身の状態を整えていきたい」、長期的なもの例「仕事しながら貯めたお金で引越しし、一人暮らししたい」など。
- 2 「課題+利用者の意向」という書き方で整理できることが望ましい。課題のみの記載、入所者の意向のみの記載のことも状況に応じてありえる。
- 3 2の課題に対して、6か月程度で達成可能な目標を設定。短期的、中・長期的な時間軸を意識しながらも、目標を大きくしすぎて本人が最初から達成することが難しくならないよう、できるだけスモールステップとすること。また、抽象的なものではなく具体的に達成が目に見えてわかることが望ましい。
- 4 開始日と終了日が明確にわかるよう、「6か月」等の記載ではなく日にちで明確に記載することが望ましい。
- 5 主語を事業所とし、入所者に支援する内容を記載する（例えば「内服し忘れないよう、決まった時間に直接お渡しする」など）。

目標と支援内容が同じ内容にならないように留意する。利用者にわかりやすいように具体的に記載することが望ましい。
- 6 どのような方法で解決していくか、記載する。
- 7 サービス提供機関と、担当者が決まっていれば担当者名も記載するのが望ましい。
- 8 留意事項があれば記載する。
- 9 個別支援計画の全体に対し、事業所が留意して支援する要点を記載する。